

令和8年度 三枝小学校 学校運営構想

学校課題や願い

- ・自分の考えをもつ子に育てたい。
- ・自分で考え、行動し、責任をもつことがで
きる子を育てていきたい。
- ・一歩踏み出すために挑戦し続けるたくま
しさを育てたい。
- ・よりよい人間関係を築く力を育みたい。
- ・児童自身が「学びの手応え」を語ること
ができる学びを積み重ねる。

地域が願う学校

- ・地域行事や学校行事、教育活動
などで、自分の好きなことが見つ
けられる活動の機会を多くもち、
交流をしていきたい。
- ・子どもを通して、保護者（家族）
と地域がつながることを大切に
していきたい。

高山市 教育の方針と重点

【方針】

未来社会を創造する資質・能力を
身に付け、学び続ける子の育成
【授業・活動のキーワード】
主体的・対話的で深い学び
～対話から議論！より深い学びへ～
一人ひとりに合った学びの実現

学校の教育目標

三枝を愛し 志高く 自立する子

育てたい資質・能力

考えをもち、対話しながら創り出す力

子ども達が願いやめあてをもって取り組む過程を大切にしながら

＊自分の思いを伝え、自ら課題を解決しようとする子

＊まわりの人とかかわり、よりよいものを求めて活動できる子

をめざす

ふるさと教育

～ふるさとを知り、ふるさとの人の想いや生き方に触れ、学ぶ～

敬老会との交流、職場体験、ホタルランドづくり、かぶら市の開催、
地域（三枝）サポーター等との協働的な学び、まちづくりへの参画 等

【学びの保障】

子ども発の願いを大切にしたい授業やアイデアあふれる活動の推進

学習指導部

- ① 基礎基本の定着 ～算数科を中心として～
 - ・単元でつけたい力の見届け（指導と評価の一体化）
 - ・ドリルや ICT 活用等による反復練習、個別指導
 - ・授業展開の統一（ノートの取り方、練習問題の時間確保）
- ② 「主体的・対話的で深い学び」の実現
 - ・対話が可能な課題の設定
 - ・解決する話し合いの場の設定（交流から対話へ）

生活指導部

- ① 「なりたい自分」を意識した継続的な取組
 - ・プレゼンによる振り返り
 - ・キャリアパスポートや個人懇談の活用
- ② 多様性を認め合う集団づくり <いのちの教育>
 - ・縦割り班（さえずり班）活動の活用
 - ・短学活・給食の時間の職員交流
 - ・心のサポーター（全職員による見守り、教育相談体制）

自ら創る安全・安心な学校 ～自分の命を守る 周りの命を大切にする いじめ（差別）を許さない～

児童の気づきから始める児童会活動 自己決定する場を位置付けた指導 課題への継続した取組
災害等を想定した命を守る訓練（防災教育）関係機関との連携（迅速なケース会議）等

家庭と地域とともに歩む学校（学校運営協議会・PTA 等）

4月～6月：PTA 総会 学校運営協議会等にて

学校経営方針の周知

7月：前期自己評価 関係者評価 後期に向けて改善

12月：後期自己評価 関係者評価

2月：次年度の方針（案）の作成

※まちづくり協議会・子どもを語る会への参加

※広報活動（学校だより 新聞報道等）

児童の幸せにつながるよう

心に寄り添う教職員

- ・児童とともに挑戦できる健康な身体
（健康管理・心の余暇・年休取得・留守電対応 等）
- ・学び合い、支え合える集団
（研修 相談 危機管理 重なり合う輪）
- ・自分自身でタイムマネジメント
（退校時刻やノー残業デーの設定）